

林野庁 近畿中国森林管理局

箕面森林環境保全ふれあいセンター・こだま通信

箕面森林環境保全ふれあいセンターでは、主に京都、大阪の都市周辺の国有林野をフィールドとして、NPO、ボランティア、地域住民等による自主的な森林づくり、里山の整備、自然再生活動、森林環境教育などへの技術指導等の支援に取り組んでいます。

伊崎国有林のカワウ対策方針を検証 ～平成19年度ワーキンググループ会合開催～

2月25日(月)、平成19年度カワウワーキンググループ会合を滋賀森林管理署で開催しました。

今回の会合では、まず平成19年度森林影響調査の概要として、尾根部に新たな営巣が確認されたこと等を報告し、今後これらの営巣木を伐採予定である旨説明したところ、委員からは、「営巣木の伐採も効果があると思われる」、「営巣開始時期に積極的な追い払いを検討してはどうか」などの意見がありました。

次に、平成20年度事業のポイントとして、滋賀県が平成20年度に銃器駆除を休止することに伴い、「歩道整備、看板設置による入り込み者増による追い払い」を提案したところ、委員からは良い取組であり実施すべきとの意見がありました。

国有林としては、これらの意見等を踏まえて今後の事業を実施することとしています。



カワウによる森林被害地再生のための森林ボランティア団体による地拵(写真提供：NPO法人ヒマヤン・グリーン・クラブ)

大杉谷国有林におけるニホンジカによる森林被害対策を検討 ～ワーキングチーム準備会合を開催～



2月29日(金)、三重県津市において、大杉谷国有林におけるニホンジカによる森林被害対策を検討するため、学識経験者、地元関係者、関係行政機関、国有林職員によるワーキングチーム準備会合を開催しました。

当センターから、大杉谷国有林の現状及び事業計画案を説明し、三重森林管理署から、大杉谷国有林におけるこれまでの取組、環境省近畿地方環境事務所から、大台ヶ原自然再生推進計画の概要について説明を行いました。

委員からは、「動物の頭数は季節変化を追う必要がある。これには糞粒法よりルートセンサスや自動撮影が適している。こういった調査は奈良県側との連携が必要」、「外部へのPRとして、放置すると獣害でこうなるという見本林をつくっている事例が海外にある。ここでもこういう事ができないか」などの意見、質問がありました。

これらの意見等を踏まえて事業計画案を修正し、5月頃にワーキングチームを立ち上げる予定です。

「グループ対抗里山デジカメ選手権」の応募作品を展示中！ ～近畿中国森林管理局(大阪市)～

平成19年度グループ対抗里山デジカメ選手権入選・応募作品について、多くの人が訪れる会場等で展示を行っています。

3月3日(月)～14日(金)まで、近畿中国森林管理局1階展示ギャラリー(大阪市)において、入選作品を含む全応募作品を展示しています。



林野庁 近畿中国森林管理局 箕面森林環境保全ふれあいセンター

TEL:075-414-9049/FAX:075-414-9029 URL:<http://www.kinki.kokuyurin.go.jp>

〒602-8054 京都市上京区西洞院通り下長者町下ル 京都農林水産総合庁舎1F

